新潟大学　人を対象とする研究等倫理審査委員会　オプトアウト書式

①研究課題名	腎癌脊椎転移に対する手術治療後の生命予後因子の検討
②対象者及び対象期間、過去の研究課題名と研究責任者	
新潟大学医歯学総合病院整形外科で、2000 年 1 月から 2019 年 12 月までの間に腎癌脊椎転移に対して手術を施行した 32 例のうち、事前にはっきりと診療記録の研究利用に対して拒否の意思を示していない患者を対象とします。	
③概要	
腎癌は骨転移の頻度の高い腫瘍であり、放射線治療抵抗性であることから、手術治療を要することも少なくありません。一方、がん患者さんにとって脊椎手術は体への負担も大きく、生命予後を術前に予測することは手術適応の決定において極めて重要です。 私たちは今後の治療方針決定に役立てるため、当院で腎癌脊椎転移に対して手術治療が行われた症例を調査し、手術後の生命予後を規定する因子を解明することにいたしました。	
④申請番号	2020-0022
⑤研究の目的・意義	本研究の目的は、腎癌脊椎転移に対する手術後の生命予後と、その予測因子を明らかし、今後の手術適応決定の一助とすることです。
⑥研究期間	倫理審査委員会承認日から２０２５年３月３１日まで
⑦情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）	電子カルテに保存されている腎癌脊椎転移に対する手術治療を受けた患者さんの病歴、血液検査結果、画像検査結果を利用させていただきます。 使用するデータは個人が特定されないように匿名化を行います。研究の成果は、学会や専門誌などの発表に使用される場合がありますが、名前など個人が特定できるような情報が公表されることはありません。
⑧利用または提供する情報の項目	病歴（年齢、性別、死亡情報、治療内容）、血液検査結果、画像検査結果
⑨利用の範囲	新潟大学　整形外科　大橋正幸
⑩試料・情報の管理について責任を有する者	新潟大学　整形外科　教授　遠藤　直人
⑪お問い合わせ先	所属：新潟大学整形外科 氏名：大橋　正幸 Tel：025-227-2272 E-mail：masayuki-ohashi@ksh.biglobe.ne.jp